

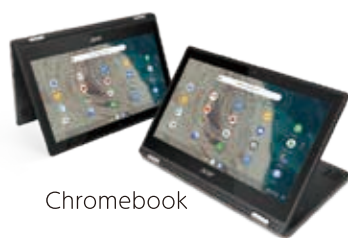
GIGAスクール構想実現に向けて

GIGAスクール構想とは

GIGAとは「Global and Innovation Gateway for All」（すべての人に世界的で革新的な出入口を）の略で、子どもたちの未来を見据え、1人1台分のコンピュータ端末および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する取り組みです。令和元年12月に文部科学省より打ち出されました。

タブレット端末活用の目的

新しい時代に必要とされる学力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」を身につけるために、また、子どもたちが「自ら考え、主体的に行動できる」ようになるためのツールの一つとして活用します。



Chromebook

富士見町の整備状況

【校内ネットワーク環境整備の充実】

- ・学校内でのネットワークインフラの充実を図り、校内でのICTを活用した授業を推進していく環境を整備しました。



【児童生徒に一人一台端末を配備】

- ◆各小中学校へタブレット端末約1,100台の配備が完了。
11月末までにすべての学校に端末の配備が完了しました。
- ◆端末の活用方針
 - ①児童生徒の学習への興味・意欲・関心を高める情報収集、資料の共有や意見発表など授業中の学習を支援。
 - ②休校になった場合などでの家庭学習を支援。
 - ③活用事例集の作成や家庭で安心して使うためのルール作り、教職員への研修の実施などにも取り組んでいきます。

【今後の方針】

- ・今年1月～3月にかけて教職員向けの各研修を経て、来年度より活用を開始していきます。

次のような学びの姿をめざしていきます。



一人一人の学びを



ペアや

グループ、クラスで共有して

対話を通して学びを深めます。



正確な学習記録をオンタイムで

残すことも可能になります。



【家庭学習でも】

- タブレット端末に課題が送られてきたり、取り組んだ課題をタブレット端末から提出したりすることもできるようになります。
- 今年度新しくなった小学校教科書には、多くのQRコードが配置されています。ドリルや動画等を利用して、自学自習ができます。

QRコード
見本▼



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

「教育のまち・子育てのまち・学び続けるまち富士見」を目指して

教育委員会だより

富士見町

第182号

令和3年2月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp

2月
定例教育委員会
2月10日(水)
午前9時30分～
役場2階 教育長応接室
傍聴歓迎

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前8時30分
～午後5時15分
☎62-9233
家庭・教育・子育て
相談員

2月21日
(第3日曜日)は
家庭の日・
家庭読書の日

まだまだ寒い日が続きますが、元気に乗り切りましょう！



保育園児との交流（富士見中3年生）

富士見中学校の3年生が家庭科の授業の一環で富士見保育園を訪問し、園児との交流を行いました。



中学生が班ごとに各クラスに入り、自己紹介をしてから大型絵本の読み聞かせをしたり、授業で子ども達のために製作したフェルトでできたおもちゃをプレゼントして、遊び方を教えたりしました。

短い交流時間でしたがすぐに打ち解けて、中学生と子ども達の和やかな触れ合いができました。



しめ縄作り（本郷小学校）

本郷小学校の3、5、6年生がしめ縄作りを行いました。5年生の総合学習の米作りでとれた藁わらを使って作りました。用務員の久保先生が講師となり、子ども達は1つ1つの作業にしっかりと丁寧に取り組んでいました。6年生のクラスでは「藁をねじるところが難しかったが、上手にできた」と話していました。それぞれに立派なしめ縄ができました。



はじめの一歩 Part 13 保育士として携わった冬のある日から…

冬の遊びといえば雪遊び。雪がチラチラすると「やったー！雪だ！」と歓声を上げる子ども達。大人には雪かきの心配や道路事情など大変なものに感じますが、子ども達にとってはこの時期ならではの楽しみです。

沢山積もるのを願いつつ、どうやって遊ぼうかとワクワク。子ども達の人気は、雪だるま、ソリスべり、かまくら。雪の止んだ園庭で雪を手にしたたり、ラッセル車のように歩いたり、転がったり雪の感触を味わいます。そのうちに雪だるまやかまくら作りが始まります。次第に大きく重くなる雪玉を友達と力を合わせて転がし雪だるまができ上がり、かまくらもできました。園庭は雪が踏み固められ、かまくらから顔を覗かせる子やお友達を乗せてソリを引く子ども、ソリゲレンデを何回も滑り築山の土が見えるようにもなりました。



給食のいい匂いがしてきました。「今日の給食なあに？」「たくさん遊んでお腹すいたね」給食の時間です。園庭には雪だるまとかまくらが残され静まり返ります。その後、子ども達はお腹も心も満足しお昼寝の眠りに落ちる中、誰のイタズラでしょうか。園庭を見ると沢山の雪だるまの頭が落ちています。お日様の陽と暖かさで解けたのです。お昼寝から目覚めた子ども達は「雪だるまがこわれている」「解けちゃった」と残念そう。降園時、「雪だるま作ったよ。解けちゃったけど楽しかった。」とキラキラしたまなざしでお母さんに話していました。

自然との関わりは子ども達に自然の力や不思議さを教えてくれます。四季折々のその時期でなければできない経験を、友達や様々な人との関わりを通して五感が刺激され心身が育まれます。今はコロナ禍、当たり前だった日常に様々な制限がされています。子どもの成長発達はその時期やチャンスを大事にしていきたいです。富士見の豊かな自然の中、のびのびと健やかに育つ子ども達を応援していきます。



(家庭・子育て相談員 平出 香富美)